

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2024年6月30日

報告書名：令和5年度 完了報告書（JPF）

令和5年度 JPF 完了報告書

事業名	カブール県郊外における食糧・衛生用品の配布事業 Distribution of Food and Hygiene Kits in the Suburbs of Kabul Province
事業対象地	アフガニスタン カブール県スロビ地区
事業期間	2023年3月5日～2023年9月4日
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム
予算	33,136,357 円
実施内容概要	長期間の紛争、経済危機、干ばつ、新型コロナウイルス感染拡大や国内の経済状況の急激な悪化等による食糧危機の影響を受けているカブール県スロビ地区において、脆弱層に対して食糧と衛生用品を配布することで、急性的な食糧ニーズ・急性水溶性下痢・コレラなどの罹患リスクを抑え、喫緊の生活維持に資することを目的とする。
成果の達成度	計画通り、スロビ地区の450世帯を対象に食糧・衛生用品配布を達成することができた。 しかし、事業策定時に比べ、事業期間を通して、円安が進行し、配布キットの実質的な値上げが発生した。値上げ分は自己資金を利用することで、キットの中身を変更することなく配布をすることができた。 関係行政機関との調整や物資調達において、大きな問題は認められず、事業期間にも遅れが生じることもなかった。そうしたことから、本事業は、計画通りに達成することができたと判断できる。
学びと提言	現地スタッフからの情報によると、タリバン暫定政権によるNGOへの締め付けが強まり、これまで以上に事業期間中の計画変更が認められにくくなっている。また、為替の変動も大きく、本事業においても支援キットの価格が予算策定時に比べて、実質的な値上げが発生したことで、購入費の一部を自己資金で対応することとなった。計画策定時には、比較的、円安が進行する想定で計画を策定し、為替レート状況を鑑みて、柔軟に裨益者世帯を増やすといったことができるようにする必要があると考えている。 加えて、配布後モニタリングによって、14世帯から配布物資に関する照会があったことが判明した。問い合わせに対する職員の説明は十分であったと回答を得ているが、こうした基本情報が誤って伝達されると、事業実施に混乱をきたしかねない。今後の事業では、上記情報に関わるコミュニケーションには細心の注意を心がけようと考えている。